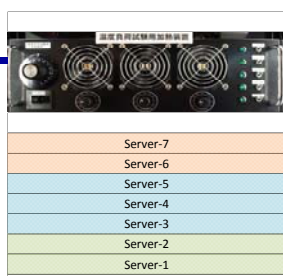


当社Serverは全てDC12V仕様



AC100V/200V⇒DC48V
TDKラムダ製HFE1600
1.6KW X 4+1



ストレージ強化 2.5"X8個内蔵
低電力&50℃対応 CORE i7III
DC12V、DC24V対応

ストレージ強化 2.5"X12個内蔵
低電力&50℃対応 CORE2Duo
DC12V、DC24V対応

超低電力 4CORE-20W or 8CORE-30W
3電源(AC、DC、内蔵電池)
DC12V、UPS実装可、ブレード機提供可

HPC&Bigdata用&低電力&35℃対応
300GFLOPS-CPU搭載、10GLAN or GEN3-SW
3電源(AC、DC、内蔵電池)
DC12V、UPS実装可、ブレード機提供可

Intel Xeon E3 & 中電力 & 35℃対応
3電源(AC、DC、内蔵電池)
DC12V、UPS実装可、ブレード機提供可

低電力 & 45℃対応 CORE i7IV
3電源(AC、DC、内蔵eneloop充電電池)
DC12V、UPS実装

低電力 & 50℃対応 CORE i7IV
3電源(AC、DC、内蔵アルカリ乾電池)
DC12V、DC24V対応、UPS実装

直流バスバー (32口) 銅ラミネートBARを使用



直流バスバー(1u型-12口)

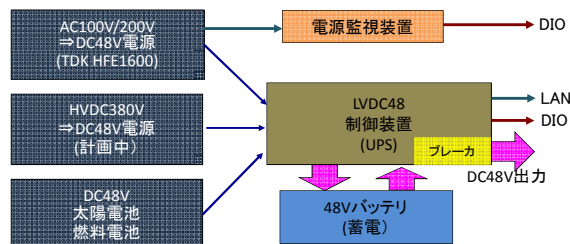


LVDC48

LVDCは低電圧DC(直流)電源の意味で当社の登録商標です。一般に使用している電源はAC(交流)100V200Vです。直流も100V/200Vで使用可能ですが、安全電圧として法律で規定したDC60V以下のみを使用するのがLVDCです。

LVDC48はLVDCの一部で古くて新しい直流電源です。DC48V電源は100年以上前から電話世界で使用され、今も通信の世界では標準電源です。基本がバッテリー給電であり、市場要求の高い無停止かつ蓄電が出来る理想的電源です。ただ電話局舎以外では利用困難な状況でもあります。**LVDC48は何処でも簡単にDC48V供給と無停止&蓄電が行える電源**です。

LVDC48の基本構成



LVDC48制御装置



電源監視装置



LVDC24制御装置



Battery



DC⇒ACインバータ



温度負荷試験用熱発生装置

データセンタの運用ではICT機器の発熱とそれを冷却する空調装置の駆け引きが日々行われています。熱や空気の流れは目に見えず正確な状況が長く分かりませんでした。近年、熱解析シュミレータソフトの進歩で計算結果を画像化し良い成果を収め始めました。しかし、所設計算値であり熱量モデルを作る技術者の能力で結果が左右されます。又長時間の連続計算は事実上不可能です。そこで古式ゆかしい、物理的な熱源とセンサーシステムを組み合わせ、結果を解析するのが一番確実です。又長期間の連続実験も容易です。最近クラウドの浸透と共に何でもアプリケーションソフトで実現可能です。当たり前の事を当たり前に実現出来る方法が年々減少する中、誰も対応しない当たり前の製品を開発し提供した製品です。

1. 熱量は200w、400w、600w、800w、1kwを自由に選択
2. 奥行は40cm〜80cm可変(→10cmシフトで30cm可能)
3. 3個のFANは風量可変、適切な風量を設定可能
4. 実機の排気と出来るだけ合わせる為に排気口の面積可変可能
5. 通信機の側面排気用に側面排気口と面積可変
6. サーモスタット設定温度より高温にならず長時間試験も安心
7. 小型軽量、3U、約10Kg、一人での設置工事可能

